

第3回 坂出市まちづくり基本構想審議会

■日時・場所

日時： 令和7年11月26日（水） 14:00～16:00

場所： 坂出市役所本庁舎本館2階大会議室

■次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 第2次坂出市まちづくり基本構想（素案）について
3. 答申
4. その他
5. 閉会

■資料

次第

資料1： 第2次坂出市まちづくり基本構想（素案）

参考資料： 概要版構成案

■会議風景



■参加者

* 敬称略・順不同

属性	氏名	所属	出席
会長	古川 尚幸	香川大学経済学部 教授	○
副会長	三谷 朋幹	坂出商工会議所 会頭	○
委員	入江 正憲	坂出市連合自治会 会長	○
委員	淡河 洋一	一般社団法人坂出市医師会 会長	○
委員	中橋 恵美子	認定NPO法人わははネット 理事長	○
委員	高木 万佐子	社会福祉法人坂出市社会福祉協議会 総務福祉係長	○
委員	信濃 優子	株式会社百十四銀行坂出支店 次長	○
委員	林 陽子	坂出市教育委員会 教育委員	×
委員	松浦 由紀	株式会社四国新聞社 地方部長	○
委員	岡田 真	坂出市PTA連絡協議会 会長	○
委員	高木 政博	坂出市保育所等保護者会連合会 会長	○
委員	山本 凌平	令和7年坂出市はたちの集い地区代表スタッフ会議 地区代表	○
委員	小泉 真理	認定新規就農者	○
委員	竹内 賢寛	坂出市地域おこし協力隊	○
委員	坂本 佳奈	坂出かけはし大使	○
委員	山元 徹	市民公募委員	○
委員	瀬戸 光浩	市民公募委員	○

■記録

1. 開会

2. 議題

(1) 第2次坂出市まちづくり基本構想（素案）について

－事務局より資料1について説明（記録省略）－

会長	<p>ただいまの説明に関して、ご意見、ご質問あれば、お願いしたい。軽微な表現であれば、対応が可能のことだ。</p> <p>今後は、会長一任のもと、事務局とともに修正していきたい。</p>
委員	<p>ビジュアル的に、イラストが入り、カラフルで見やすいものになっていると思う。</p> <p>一方、私もいくつか自治体に関わっているが、国の状況の記載に関しては、我が町に関する事項に集中しているところが多いと感じるが、全国の動きということで、理解して読み進めた。</p> <p>素案の8ページ、⑤多様化・複雑化する福祉ニーズへの対応の、「高齢世帯の孤立やヤングケアラー、ひとり親世帯の増加等」という文章で、ヤングケアラーは用語集に入っているが、坂出市はどこに手を打つのか。高齢世帯の孤立とヤングケアラーがセットになると、混乱する。ヤングケアラーというのは子育て世代の課題であり、そういった点が気になった。</p> <p>また、ひとり親世帯の増加と記載があるが、どのエビデンスになるのか。香川県のデータで言うと、ひとり親世帯は数でいうと減っているが、割合としては増えている。子どものいる家庭が減っており、母数が減っているので、世帯数だけでいうと減っている。全体の割合としては増えている。このあたりが曖昧な表現になっている。上位計画なので、適正な適切な言葉の使い方を求める。</p> <p>素案26ページ、前回の意見は反映していただいたが、ワークショップの文言があるが、何のワークショップか説明がない。例えば対象がどんな人であったか、少し説明を入れた方が良い。私は読んでいて引っかかった。今回の策定に向けたワークショップを、いつ開催したのか、誰が来たのか、何人でやったのか。例えば、若者を中心とした地元の市民のワークショップ等、文言を追加して欲しい。</p> <p>素案28ページ、他の自治体で同じことを書いていても違和感がなく読めてしまう。唯一、四国の交流拠点と記載があり、四国のどこかの自治体の計画であろうと予想できる。坂出らしさ、坂出の特徴が、キーワードとしてあまり出てきていない。坂出のまちづくりの重点テーマだと読めるキーワードがどこにもなく、我が事として捉えにくい。</p> <p>素案47ページ、(3) 移住・定住の促進のところで、冒頭の国の動向の中では、「二地域居住」というキーワードがあり、移住定住、交流人口、観光人口も含めだと思うが、二地域居住を進めるのであれば、移住希望者だけではなく、二地域で生活する人の希望にもこたえられる体制や、坂出は交通が非常に便利なので、東京と坂出を行き来しながら仕事をすることも比較的やりやすい土地柄だと思うので、二地域居住も意識してキーワードとして盛り込んで欲しい。また、(4) 観光の推進</p>

		のところで、さかいでまろや崇徳上皇等も大きな観光資源である。そういったキーワードも入れてほしい。
事務局		素案 8 ページ、ひとり親世帯の割合などは、文言など事務局として精査する。 素案 26 ページ、ワークショップの文言は変更する。 素案 28 ページ、坂出らしさがないというところについては、確かに日本全国通用するような文言になっている。全体ではないが、坂出らしさを入れて変更する。
会長		ご指摘いただいたところは、再度検討して、最終的には、私に一任していただきたい。
委員		用語集が最後にあり、読んでいて分からない。注釈をつけて、用語集は最後にあるというような説明を入れるべきではないか。もしくは、用語集を最初にもってきてはどうか。
事務局		用語集についての記載方法については検討したい。目次でも分かるように記載することも検討したい。
委員		どの用語が掲載されているか分からないので、注釈等を付けられないか。
会長		用語集に掲載のある言葉に注やアスタリスク等を入れ、参考資料を見てもらえると分かるというような文言を入れる修正は可能だと思う。検討してほしい。
委員		素案 66 ページ、ワークショップのみんなの宣言シートが読めない。見えた方が良い。
事務局		確かに見にくいので、工夫する。
会長		各施策に関連する主な個別計画の説明はあるが、見せ方として、ホームページで公開する際は、個別計画名をクリックしたら、その計画のページの内容が出るなど、見せ方の工夫が必要だと思っている。 先ほど委員から意見のあった、ワークショップニュースも字が小さくて見えないという話は私からも伝えた。紙面の関係もあるので、このサイズでの掲載は仕方ない。インターネットを使っていない方からするとホームページの対応で十分なのかというご意見はあるかと思うが、ホームページで公開する際は、基本構想を掲載する側にワークショップニュースも置いて見やすいようにしていただければと思う。
会長		ご意見をいただいたところは、修正して、最終的に皆様のご意見の意図と一致するかどうか分からないが、私に一任していただき事務局と一緒に修正するということを思っている。私にご一任していただくことを前提に他にいかがか。
副会長		項目にはあるが、個別計画がないものをどのように取り扱うか。 例えば、素案 46 ページ、水産業関係のところで、農業のところは入ったが、計画化はしていないが、実行しているものもある。外国人の話も、計画にはなっていないが、10 年の間に何か考えていかなければならない。そのようなことを、入れるのか、入れないのか。 この計画を 10 年後に見た時に、この時は計画がなかったが、10 年の間にそれ色々なことを取り組む予定であったみたいなことはあった方が良いと思う。

事務局	<p>令和8年度からのまちづくりの基本構想であり、その時点で市が策定している個別計画という位置づけで記載している。</p> <p>先般、市長とも協議したが、例えば、観光の計画が坂出市ではなく、必要ではないかという話をした。</p> <p>10年間にこういった計画を策定するという具体的な記載は難しい。必要に応じて、3年スパンか5年スパン、10年スパンというのもある。市として目指すべき個別計画施策は、その都度その都度検討しながら、社会情勢にあった計画を策定していくことになると思う。</p>
副会長	<p>個別計画と記載することは無理だと思うが、担当課の記載があるので、計画が無くとも、リンクを貼るなど出来るのではないか。</p> <p>基本構想の話は、10年後まで何も行われないのか。1度提出をすると、策定メンバーが集まるといったことはないのか。</p>
事務局	<p>現段階で審議会の次回開催予定はない。</p> <p>審議していただいた方を中心に進捗状況を管理するという予定は、確定的にはない。まちづくり基本構想は最上位計画で、素案3ページ、人口ビジョンまち・ひと・しごと創生総合戦略は、毎年度、KPIの達成状況を公表し、ご審議いただいている。</p> <p>あくまでも10年間のまちづくりの基本構想で、大きな市の指針であり、その下の個別計画等については、その都度、進捗状況や達成状況を審議している状況である。</p>
会長	<p>ご指摘の通り、このまちづくり基本構想を策定して、初めて、水産業や観光の計画がないなど、他にもそういったことが出てくると思う。改めてそういうことが分かったということも基本構想を作った結果のひとつである。計画がないところは、今後、市で計画について、必要があれば考えていくことになると思うので、その資料としても活用できるのではないか。</p> <p>基本構想では、KPIを設けていないため、検証する必要がないわけではないが、毎年毎年、達成状況を評価するものでもない。この10年間を踏まえて、次の基本構想を作ることになる。</p>
会長	<p>大体意見も出尽くしたかと思う。9月22日に市長より当審議会に諮問があった第2次坂出市まちづくり基本構想案につきまして、本日の議論及び意見を踏まえ、修正については私にご一任いただき、事務局と修正するということをご了承いただきたい。</p>
全員	了承。
会長	では、了承するということにさせていただく。

－事務局より参考資料について説明（記録省略）－

会長	<p>説明のあった概要版について、意見を伺いたい。</p> <p>前回の意見を踏まえても、特にこの事例が良いといった意見はなかったが、広島県三次市のような案で進めていくという考えではあるが、誤解のない様に申し付け</p>
----	--

	<p>加えると、当初、私の方から、子どもでも分かるようにということを伝えた。子どもが分かるということではなく、誰にとっても分かりやすい概要版にするという意味であり、特に子どもということにこだわってはいない。</p> <p>誰にでも分かりやすい概要版、年齢に関わらず分かりやすい概要版の内容にしてはどうかという事務局からの提案である。</p>
委 員	概要版の表紙・裏面は何を表しているのか。坂出市の名産か。
事 務 局	参考資料内のイラストに関しては、三次市の概要版をイメージとして示している。そのため、策定する際は、例えば、坂出市の名産品や魅力になるような瀬戸大橋など、皆さんのシビックプライドに響くようなものを掲載したいと考えている。
委 員	素案 27 ページのまちのイラストが非常によく出来ている。表紙・裏面のどちらかに掲載してはいかがか。坂出の名産品を表紙・裏面に入れる必要はないと思う。
事 務 局	概要版は、坂出市の 10 年後の目指すべきまちの姿を中心に入れることになるが、坂出市民が見たらこれが坂出のイメージだと思うような特色を入れていきたいと思う。
委 員	27 ページのイメージをもっと活用した方がよい。活用してはいけないのか。
会 長	27 ページのイラストは、私もよく出来ていると思っている。概要版の裏面は、三次市は全面イラストになっているが、坂出市の場合は、資料に記載があるように、基本構想の目的、期間、特色とか、おそらく文章が記載される。 ご意見は、概要版 4~5 ページのめざすべき将来像のあたりで、27 ページのイラストをそのまま掲載するのか、27 ページのイラストのような形で将来像をイラスト化して掲載するのかということだと思う。
	27 ページのイラストは、非常によくできているので、そのまま活用するかどうかは別として、概要版 4~5 ページに入るのだと思う。裏面に関して、イラストばかりにはならないと思う。

3. 答申

－会長より答申（記録省略）－

市 長	<p>皆様こんにちは。</p> <p>ただいま市政の最上位の方針となる第 2 次坂出市まちづくり基本構想素案について答申をいただいた。</p> <p>古川会長をはじめ、委員の皆様におかれては、9 月 22 日の諮問以来、深いご見識のもと、熱心にご議論いただき、厚く御礼を申し上げる。</p> <p>審議会を通して、ご意見やご提言、また本日いただいたこの答申の内容を真摯に受け止め、委員の皆様におかれては、これまで以上に市政に対するご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げる。</p> <p>最後になるが、委員の皆様の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただく。</p>
-----	---

4. その他

事務局 本日承認いただいた第2次坂出市まちづくり基本構想素案だが、年明け1月上旬から2月にかけて、パブリックコメントを実施する。
その後、3月の定例会において議案として上程し、議会の承認をいただいた後、製本を予定している。

5. 閉会

事務局 以上で、第3回坂出市まちづくり基本構想審議会を終了する。

以上